

定員

150名
先着順

比治山大学 現代文化学部 言語文化学科
日本語文化コース 公開講演会

地域から紡ぐ物語 — 創作の現場を聞く

2026. 2.23 (祝)
13:00~14:20 (開場 12:30)

会場 比治山大学3号館4階大講義室

住所 〒732-8509 広島市東区牛田新町4丁目1-1

参加費 無料



作家
稻田 幸久 氏

1983年、広島市生まれ。安芸高田市役所に勤務した後、35歳で退職。以降はフリーランスとしてチラシ制作などに携わりながら、創作活動を本格化させ、文学賞への応募を重ねる。2021年5月、『風雲月路』により第13回角川春樹小説賞を受賞し、作家デビュー。同年10月には同作を『駆ける少年騎馬遊撃隊』と改題し刊行、2022年の第12回広島本大賞を受賞した。主な著書に『駆ける2少年騎馬遊撃隊』『悪党』など。2025年3月刊行の、広島駅ビル「ミナモア」を舞台とした小説『10 YEARS AFTER』は、TSSテレビ新広島開局50周年記念ドラマとして、2026年2月に放映が予定されている。さらに2024年には、自主制作映画『ベルサーマ声をなくした二人』で監督・脚本を務めるなど文学と映像の両分野で活動し近年注目を集めている。

講演内容

作家への道のり、創作活動のプロセスなど

地域に根ざした作品や、歴史に関わる作品を多数発表されている稻田氏に、作家に至るまでのキャリア形成や、創作活動のプロセスなどをお話しいただきます。また、お話の後に、質疑応答の時間も設けます。

※講演後には、稻田氏の著作の展示即売会、ならびにサイン会も開催いたします。

参加方法・申込方法

本講演会は、一般の皆様にも公開いたします。参加ご希望の方は、右記QRコードよりお申し込み下さい。
※QRコードからのお申し込みが難しい場合は、お名前およびご連絡先を明記のうえ、下記宛先までメールかハガキにてお申し込みください。なお、席に余裕がある場合には、事前の申し込みがなくても当日参加が可能です。ただし、定員に達し次第、入場を締め切らせていただきますので、予めご了承ください。
そのほか、詳細につきましては、メールにてお問い合わせください。

〒732-8509 広島市東区牛田新町四丁目1-1 言語文化学科 九内宛

✉ ysa971@hijiyama-u.ac.jp

